

# 完成見学会 見所ポイント

## (仮)東温パッシブハウス 完成見学会

2025年6月28日(土)、29日(日)

10:00～17:00(1時間2組での予約制)

### 終了致しました



この左の写真の赤色の部分  
は、断熱施工が施されてい  
まる箇所を示しています。  
建物の外皮全体に断熱施工  
が施されています。

高性能住宅に全館空調を採用する  
ことで家中どこにいても  
温度ムラがなく快適に。  
少ないエネルギーで  
快適に過ごすことの出来る  
高性能住宅の心地よさを  
是非ご体感ください。



## 無垢のフローリング

1階・2階のフローリングには  
ナラにオイル塗装をしたものを使用。  
濃い色合いでナラ突板との相性も良いです  
硬い素材の為キズが付きにくく耐久性も  
優れています



## 和紙

1階和室の壁・天井・押入れに使用  
お部屋の雰囲気を柔らかく暖かい空間に。  
調湿性を持っているため  
湿度を一定に保ちます。  
化学物質を使用せず  
自然素材で作られているため環境に優しく、  
ホルムアルデヒドなどの人体に  
有害な物質の発生もありません。

## 漆喰

玄関からLDKまでを漆喰塗り仕上げで施工  
強アルカリ性のため  
抗菌・抗ウイルス効果や  
カビの繁殖を抑制する効果があります。  
調湿・消臭効果もあり  
お部屋の中を快適な湿度に保ちます。  
自己硬化性により高い耐久性を保持





### 造作洗面台

ポリエステル化粧合板のカウンターに  
ハイバック式の洗面台  
正面、左手側にタイルを施工  
三面鏡になっており  
広い収納スペースを確保



### 造作キッチン

タモの突板をオイル塗装したものを使用  
天板はステンレスのカウンター  
W900×D500の広々シンクに  
おしゃれで開放的なアイランドキッチン



### 塗り壁

塗り壁には大理石を砕いたものを主原料とした  
ガルデを使用。  
左官さんによる仕上げにより  
コテ目がありいい味が出ています  
防汚性にも優れておりメンテナンスも  
少なく済みます



### 杉板張り

板張り部分はウッドロングエコを使用  
板を交互に重ね合わせて張る大和張りとい  
う伝統的な工法で施工  
板の間に隙間ができるため、  
通気性が良くなり木材が長持ちしやすい



## UNILUX社 樹脂サッシ

UNILUX社の高断熱・高気密、  
樹脂のトリプルガラスサッシです  
U値0.79W/㎡k

コーキング材に耐候性と気密性に優れた  
高性能合成ゴム（EPDM）を採用  
手入れが簡単で劣化しにくく、  
耐久性の高い素材

## UNILUX社

### 木製アルミクラッドサッシ

木製とアルミニウムの組み合わせで  
パッシブ仕様の製品  
U値は0.8W/㎡k  
木製部分の変形をアルミニウムの  
内部構造でカバー  
室内側のサッシは木製のため  
自然素材で仕上げた床材や窓枠との  
相性がとてもいい

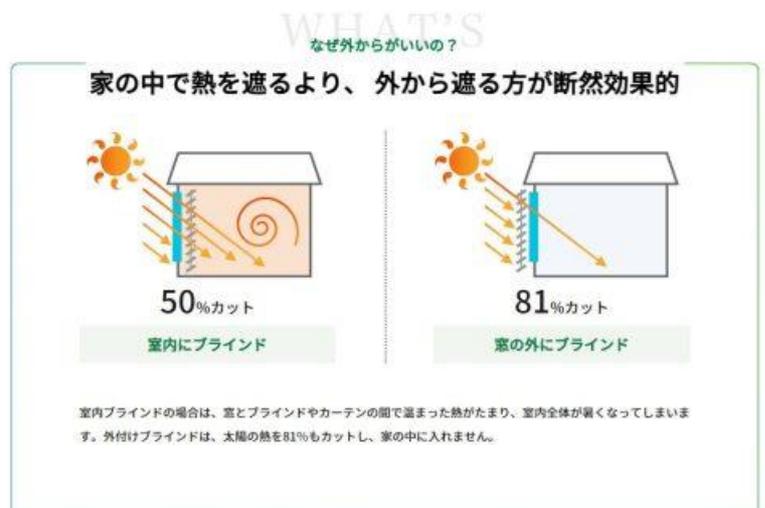
# TOON PASSIVE HOUSE



## 日射遮蔽：外付けブラインド

日射遮蔽にはwarema社の  
外付けブラインドを採用  
室内に付けるブラインドとは違い  
外で日光の熱を約80%止めることが  
出来る商品になっています  
弊社では1台の少ないエネルギーの  
エアコンで冷房を全館にきかせている  
ので夏場にはなるべく日光の熱を  
入れない工夫が大切になってきます

ブラインドの羽の角度は自由に変えられるため  
冬場には外からの視線を遮りながら  
日光を取り入れることも可能



# TOON PASSIVE HOUSE



## 高性能住宅のポイント①

全館空調にはDAIKIN社の  
アメニティエアコンを採用しています  
ダクトを使用してすべての空間に  
夏は涼しい空気・冬は暖かい空気を  
送ります

高性能住宅の為冷暖房機械は  
この1台のみとなっております



## 高性能住宅のポイント②

24時間全熱交換換気にはジェイベック社の  
フォーカス200を採用しています  
ドイツ製の商品で熱交換効率 93%  
(ドイツパッシブハウス認定 91%)  
とエアコンの運転を最小化することが可能  
ドイツの最先端技術を駆使したパッシブハウス  
協会公認のシステム



# 建物の燃費 計算結果

## ■ 建物概要・計算条件

PHPP 9.6a 計算結果 Ver:0.65

PASSIVEHOUSEJAPAN

物件名	(仮) 東温パッシブハウス		竣工年	2024	エネルギーコンサルタント		
建築地	0		有効床面積	124.80	省エネ建築診断士番号		
気象データ	JP0030a-Matsuyama	平均外気温[℃]	16.4	入居者数	自動(2.7)	計算条件	パッシブハウス基準
暖房度時(D20)	-	冷房度時(D25)	-	1月の室内の推定相対湿度	32%	ピーク負荷	冷房 10.8 暖房 12.6 W/m <sup>2</sup>
						内部発熱量 [W/m <sup>2</sup> ]	標準値

## ■ 部位別熱損失[W/K]



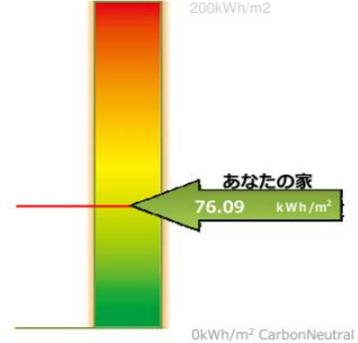
## ■ 年間一次エネルギー消費 内訳[GJ]

※設備：換気システム、太陽熱温水設備等に必要な電力エネルギー



## ■ 建物の燃費

※燃費に家電分は含まれていません。



## ■ 外皮性能・気密性能

外皮・気密性能 (近似値)	暖房期の窓の熱収支 [kWh/年]	窓平均Uw値 [W/m <sup>2</sup> K]
Q値, Ua値 [W/m <sup>2</sup> ・K]	日射取得量(Gain) 1899	0.23
C値 [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]	熱損失(Loss) 1371	0.95

PASSIVE性能	単位床面積当たり [kWh/m <sup>2</sup> ・年]	パッシブハウス基準値 [kWh/m <sup>2</sup> ・年]	判定	建物全体 [GJ/棟・年]
年間暖房需要(20℃)	14.48	15以下	OK	6.51
年間冷房需要(25℃)	22.08	22以下	OK	9.92
気密性能	0.50 回/h	0.6回/h以下	OK	-

## ■ 省エネ性能

再生可能エネルギー等の自家発電[kWh]	0	貢献度	0%
太陽熱温水器の給湯負荷削減量 [kWh]	0		
換気設備の実効熱交換率	67%		

建物の燃費	単位床面積当たり [kWh/m <sup>2</sup> ・年]	建物全体 [GJ/棟・年]
総一次エネルギー消費	76.09	34.18
総一次エネルギー消費 <自家発電考慮>	76.09	34.18

## ○(仮)東温パッシブハウス性能値

- ・ Ua値 : **0.23** [W/m<sup>2</sup>・K]
- ・ C値 : 減圧法 **0.08** [cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>] 漏気回数0.25回  
加圧法 **0.06** [cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>] 漏気回数0.25回
- ・ 年間暖房需要 (20℃) : **14.48** [kWh/m<sup>2</sup>・年]
- ・ 年間冷房需要 (25℃) : **22.08** [kWh/m<sup>2</sup>・年]
- ・ 一次エネルギー消費 : **76.09** [kWh/m<sup>2</sup>]

## ○断熱仕様

- ・ 基礎 : 外周部 EPS (防蟻処理) **100mm**  
土間下 XPS **100mm**
- ・ 壁 : 【塗り壁部】  
充填断熱 ウッドファイバー **105mm**  
付加断熱 ラムダボード **120mm** 計225mm  
  
【木部】  
充填断熱 ウッドファイバー **105mm**  
付加断熱 フェノバボード **90mm** 計200mm
- ・ 屋根 : 垂木間 ウッドファイバー **300mm**  
垂木上 フェノバボード **90mm** 390mm
- ・ サッシ : UNILUX社 樹脂トリプルサッシ  
木製トリプルサッシ

## ○パッシブハウスの性能基準

- ・ 年間暖房需要 (20℃) : **15** [kWh/m<sup>2</sup>・年] 以下
- ・ 年間冷房需要 (25℃) : **22** [kWh/m<sup>2</sup>・年] 以下
- ・ 漏気回数 : **0.6**回/h 以下
- ・ 一次エネルギー消費 : **120** [kWh/m<sup>2</sup>] 以下